



平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月11日

上場会社名 住友ベークライト株式会社
コード番号 4203

上場取引所 東証一部・大証一部

URL <http://www.sumibe.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理企画本部長
四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

(氏名) 小川 富太郎
(氏名) 八幡 保 TEL (03)5462-3452

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績 (平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	59,774	—	3,132	—	3,944	—	1,431	—
20年3月期第1四半期	64,612	1.9	3,564	△24.5	4,107	△19.5	2,871	△19.7

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第1四半期	5	59	—	—
20年3月期第1四半期	10	94	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
21年3月期第1四半期	251,562		152,474		59.8		599	44
20年3月期	267,421		166,364		61.3		634	46
(参考) 自己資本	21年3月期第1四半期		150,478百万円		20年3月期		163,835百万円	

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	7 50	—	7 50	15 00
21年3月期(予想)	—	7 50	—	7 50	15 00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期連結累計期間	123,800	—	7,300	—	8,100	—	3,800	—	15	01
通 期	250,000	11.0	15,500	71.7	17,000	74.6	9,800	347.1	38	94

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
[(注) 詳細は、4～5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有
- ② ①以外の変更 : 無
[(注) 詳細は、4～5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- | | | | |
|-------------|--------------|--------|--------------|
| 21年3月期第1四半期 | 265,852,394株 | 20年3月期 | 265,852,394株 |
|-------------|--------------|--------|--------------|
- ② 期末自己株式数
- | | | | |
|-------------|-------------|--------|------------|
| 21年3月期第1四半期 | 14,819,244株 | 20年3月期 | 7,625,301株 |
|-------------|-------------|--------|------------|
- ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)
- | | | | |
|-------------|--------------|-------------|--------------|
| 21年3月期第1四半期 | 255,867,068株 | 20年3月期第1四半期 | 262,570,186株 |
|-------------|--------------|-------------|--------------|

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・上記の「3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)」は、作成時点において当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によりこれらの予想と異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期(平成20年4月から平成20年6月)の世界経済は、サブプライムローンを発端とした金融不安の波及と原油などの素材価格の高騰から、欧米では景気減速が進み、拡大の続いたアジアでも減速感がみられるようになりました。国内も牽引役の輸出の伸びが鈍化し、設備投資に陰りがみられ、景気後退が予測される状況となりました。

当社グループを取り巻く事業環境については、海外では、半導体はパソコン、デジタル家電、携帯電話の販売は増加したものの、製品価格の下落と在庫調整局面からの回復遅れにより、厳しい状況下にありました。自動車の販売は新興国で好調でしたが、欧州で若干減少し、北米では大幅に減少しました。一方国内では、自動車生産台数は前年同期に比べ増加しましたが、新設住宅着工件数は前年同期を下回り、携帯電話の販売も減少しました。

このような経営環境の中にあつて、当社グループは新中期経営計画の基本方針に①「選択と集中による高収益成長企業への飛躍」②「顧客ニーズを先取りした次世代ソリューションの提供」③「3コア事業強化による収益拡大」を掲げ、事業の再構築に取り組んでいるところです。

当第1四半期の経営成績につきましては、連結売上高は、円高による海外子会社の売上高減少と回路製品および建材関連製品の販売数量減少から597億74百万円(前年同期比7.5%減)となりました。連結営業利益は31億32百万円(同12.1%減)、連結経常利益は39億44百万円(同4.0%減)となりました。連結四半期純利益につきましては、当初の上半期業績予想に織り込んでいましたが、たな卸資産評価損7億30百万円、筒中プラスチック工業(株)との合併に伴う適格退職年金過去勤務費用7億57百万円、および投資有価証券評価損8億86百万円の特異損失を計上したことで14億31百万円(同50.2%減)にとどまりました。

事業の種類別販売状況(対前年同期比較)

①「半導体・表示体材料」部門

半導体封止用エポキシ樹脂成形材料は、アジア地域での在庫調整など市況の回復が遅れたことで、売上高は減少しました。

感光性ウェハーコート用樹脂は300mmウェハーメモリー用途の伸張により、売上高は増加しました。

ダイボンディング用ペーストおよび半導体用液状封止樹脂の売上高は、横ばいで推移しました。

半導体実装用キャリアテープは、市況の回復が遅れたことで売上高は若干減少しました。

②「回路製品」部門

フレキシブル・プリント回路は、汎用品の生産をベトナムに集約する過程で採算重視の受注に切り替えたことや一部ユーザーの在庫調整などから、売上高は減少しました。

エポキシ樹脂銅張積層板は、国内での生産品目の削減など販売用途・顧客の絞込みをしたことから売上高は減少しました。

③「高機能プラスチック」部門

フェノール樹脂成形材料は、国内と欧州は堅調でしたが、北米の自動車部品用途が減少したことで、売上高は減少しました。

工業用フェノール樹脂は、欧州地域においてタイヤ用レジンなどが好調であり、また接着剤事業を展開する(株)サンベークが前年度末より連結子会社となったことで、売上高は増加しました。

尚、工業用フェノール樹脂の中国における需要拡大に対応し、現地生産を行うため江蘇省南通市に「南通住友電木有限公司」を昨年設立し、年内の稼働を目指して建設を進めています。

成形品は、自動車関連や電子部品の受注が減少し、売上高は減少しました。

④「クオリティオブライフ関連製品」部門

医療機器製品は、「胃瘻用ボタン」や静脈用埋込血管ポート「オルカCV」が順調に伸張し、売上高は増加しました。

尚、今後の旺盛な需要に対応し、生産能力の拡充を図るべく、中国広東省東莞市の生産拠点において、新工場棟を建設中であり、本年9月に完成予定です。

ビニル樹脂シートおよび複合シートは、医療用途やエレクトロニクス用途の伸張により、売上高は増加しました。

メラミン樹脂化粧板・不燃板は、不燃製品などの減少から売上高は減少しました。

ポリカーボネート樹脂板および塩化ビニル樹脂板などのプレート事業は、サイン・ディスプレイ分野が振るわず売上高は減少しました。

防水関連事業は、リフォーム分野で伸張しましたが、住宅業界の不振から新築物件が減少したため、売上高は減少しました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債および純資産の状況

① 資産の部

総資産は、前連結会計年度末に比べて、158億59百万円減少し、2,515億62百万円となりました。主な要因は、自己株式の取得などにより現金及び預金が73億62百万円減少したことおよび在外子会社の換算レートが前連結会計年度末に比べ円高に進行したことによるものであります。

② 負債の部

負債合計は、前連結会計年度末に比べ19億69百万円減少し、990億88百万円となりました。

主な要因は、支払手形および買掛金が24億34百万円減少したことによるものであります。

③ 純資産の部

純資産は、前連結会計年度末に比べ138億90百万円減少し、1,524億74百万円となりました。

主な要因は、四半期純利益14億31百万円の計上などの増加要因があった一方で、自己株式が45億64百万円増加したことおよび為替換算調整勘定が83億74百万円減少したことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末の現金および現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ69億円減少し、364億78百万円となりました。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は、50億58百万円となりました。これは主に、減価償却費の計上および四半期純利益による増加であります。前年同期と比べると43億30百万円の収入の増加となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動に用いた資金は、28億89百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出であります。前年同期と比べると、1億29百万円の支出の増加となりました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動に用いた資金は、55億70百万円となりました。これは主に、自己株式の取得および配当金の支払による支出の結果であります。前年同期と比べると、46億50百万円の支出の増加となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

1株当たり当期純利益の金額は、平成20年5月8日開催の取締役会決議に基づく自己株式の取得等による期中平均株式数の変更を反映し、修正しております。

その他の項目については、平成20年5月8日発表の業績予想から変更ありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

当社及び一部の連結子会社は、法人税等の納付税額の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

たな卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)により算定しております。

この結果、従来の方法に比べて、税金等調整前四半期純利益が729百万円少なく計上されております。

③ 連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号)を当第1四半期連結会計期間から適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

(追加情報)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正を契機として資産の利用状況等を見直した結果、一部の有形固定資産の耐用年数を変更しております。

なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	38,862	46,224
受取手形及び売掛金	57,320	58,778
商品及び製品	11,881	12,921
半製品	2,571	2,608
仕掛品	1,064	1,459
原材料及び貯蔵品	10,771	12,200
その他	7,938	9,176
貸倒引当金	△411	△493
流動資産合計	129,999	142,874
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	35,299	37,064
機械装置及び運搬具(純額)	31,392	33,935
その他(純額)	19,168	18,981
有形固定資産合計	85,860	89,981
無形固定資産		
のれん	7,091	7,554
その他	1,836	2,734
無形固定資産合計	8,928	10,288
投資その他の資産	26,774	24,276
固定資産合計	121,563	124,547
資産合計	251,562	267,421

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,697	41,131
短期借入金	8,073	8,159
コマーシャル・ペーパー	9,000	8,000
未払法人税等	1,436	1,670
賞与引当金	1,623	3,003
その他	14,241	13,470
流動負債合計	73,073	75,435
固定負債		
長期借入金	10,811	10,813
退職給付引当金	6,819	5,838
その他の引当金	566	577
負ののれん	3,132	3,467
その他	4,684	4,924
固定負債合計	26,015	25,621
負債合計	99,088	101,057
純資産の部		
株主資本		
資本金	37,143	37,143
資本剰余金	35,358	35,358
利益剰余金	90,437	92,234
自己株式	△10,497	△5,933
株主資本合計	152,441	158,802
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,641	1,262
為替換算調整勘定	△4,604	3,770
評価・換算差額等合計	△1,962	5,033
少数株主持分	1,995	2,529
純資産合計	152,474	166,364
負債純資産合計	251,562	267,421

(2) 【四半期連結損益計算書】

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間
 (自平成20年4月1日
 至平成20年6月30日)

売上高	59,774
売上原価	44,528
売上総利益	15,246
販売費及び一般管理費	12,114
営業利益	3,132
営業外収益	
受取利息	229
受取配当金	267
負ののれん償却額	307
持分法による投資利益	19
雑収入	206
営業外収益合計	1,030
営業外費用	
支払利息	98
雑損失	119
営業外費用合計	218
経常利益	3,944
特別利益	
固定資産売却益	13
投資有価証券売却益	43
特別利益合計	57
特別損失	
固定資産除売却損	90
投資有価証券評価損	886
減損損失	81
適格退職年金過去勤務費用	757
たな卸資産評価損	730
特別損失合計	2,547
税金等調整前四半期純利益	1,454
法人税、住民税及び事業税	392
法人税等調整額	△314
法人税等合計	78
少数株主損失(△)	△54
四半期純利益	1,431

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間
 (自 平成20年 4月 1日
 至 平成20年 6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,454
減価償却費	3,122
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	738
固定資産除売却損益 (△は益)	76
受取利息及び受取配当金	△497
支払利息	98
投資有価証券売却損益 (△は益)	△43
投資有価証券評価損益 (△は益)	886
減損損失	81
売上債権の増減額 (△は増加)	△559
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,167
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	1,099
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,325
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△681
その他	△529
小計	5,090
利息及び配当金の受取額	500
利息の支払額	△48
法人税等の支払額	△484
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,058
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△2,997
有形固定資産の売却による収入	52
投資有価証券の取得による支出	△30
投資有価証券の売却による収入	52
長期貸付けによる支出	△23
その他	57
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,889
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	157
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	1,000
配当金の支払額	△1,936
少数株主への配当金の支払額	△224
自己株式の取得による支出	△4,564
その他	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,570
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,498
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,900
現金及び現金同等物の期首残高	43,378
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,478

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結会計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

(単位:百万円)

	半導体・ 表示体材 料	回路製品	高機能 プラス チック	クオリテ ィオブラ ィフ関連 製品	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	14,460	9,309	18,760	17,029	215	59,774	—	59,774
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	219	81	—	301	(301)	—
計	14,460	9,309	18,980	17,111	215	60,076	(301)	59,774
営業利益又は 営業損失(△)	2,573	△480	1,127	1,044	19	4,285	(1,152)	3,132

(注) 1 事業区分は、製品の市場における主要用途、事業の類似性を勘案し区分しております。

2 各事業の主要な製品および役務の内容

(1) 半導体・表示体材料

半導体封止用エポキシ樹脂成形材料、感光性ウエハーコート用液状樹脂、半導体用液状樹脂、半導体実装用キャリアテープ、半導体チップ接着用テープ

(2) 回路製品

フレキシブル・プリント回路、フェノール樹脂銅張積層板、エポキシ樹脂銅張積層板

(3) 高機能プラスチック

フェノール樹脂成形材料、工業用フェノール樹脂、精密成形品

(4) クオリティオブライフ関連製品

医療機器製品、メラミン樹脂化粧板・不燃板、ビニル樹脂シートおよび複合シート、鮮度保持フィルム、ポリカーボネート樹脂板、塩化ビニル樹脂板、水処理関連製品、防水工事の設計ならびに施工請負

(5) その他

試験研究の受託、土地の賃貸等

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	北米	欧州その他の地域	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	32,510	17,086	4,387	5,790	59,774	—	59,774
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3,378	2,674	188	2	6,243	(6,243)	—
計	35,888	19,761	4,576	5,792	66,018	(6,243)	59,774
営業利益又は営業損失(△)	2,248	1,664	△95	327	4,145	(1,012)	3,132

(注) 1 国又は地域の区分は、概ね地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……シンガポール、マレーシア、中国、インドネシア、フィリピン、台湾、ベトナム、タイ

(2) 北米……米国、カナダ、メキシコ

(3) 欧州その他の地域……ベルギー、スペイン

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

(単位:百万円)

	アジア	北米	欧州その他の地域	合計
I 海外売上高	20,656	4,422	5,458	30,537
II 連結売上高				59,774
III 海外売上高の連結売上高に占める割合	34.6%	7.4%	9.1%	51.1%

(注) 1 国又は地域の区分は、概ね地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……シンガポール、マレーシア、中国、インドネシア、フィリピン、台湾、韓国、タイ

(2) 北米……米国、カナダ、メキシコ

(3) 欧州その他の地域……ベルギー、スペイン

3 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結会計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

該当事項はありません。

「参考資料」

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前第1四半期	
	自平成19. 4. 1 至平成19. 6.30	百分比
売上高	64,612	100.0
売上原価	48,553	75.1
売上総利益	16,058	24.9
販売費および一般管理費	12,494	19.3
営業利益	3,564	5.5
営業外収益	(1,098)	
受取利息	355	
受取配当金	183	
ののれん償却額	263	
雑収入	295	
営業外費用	(554)	
支払利息	124	
持分法による投資損失	179	
雑損失	251	
経常利益	4,107	6.4
特別利益	(153)	
固定資産売却益	151	
投資有価証券売却益	1	
特別損失	(142)	
固定資産売却および除却損失	95	
投資有価証券評価損失	26	
合併費用	20	
税金等調整前四半期純利益	4,118	6.4
法人税等	1,183	
少数株主利益	63	
四半期純利益	2,871	4.4

「参考資料」

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前第1四半期
	自平成19年4月1日 至平成19年6月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	4,118
減価償却費	3,164
前払年金費用および退職給付引当金の増減額	166
固定資産売却および除却損益	56
受取利息および受取配当金	539
支払利息	124
投資有価証券売却益および関係会社株式売却益	1
投資有価証券評価損失	26
売上債権の増減額	213
たな卸資産の増減額	253
その他の流動資産の増減額	113
仕入債務の増減額	741
その他の流動負債の増減額	601
その他	180
小 計	5,325
利息および配当金の受取額	573
利息の支払額	80
法人税等の支払額	5,089
営業活動によるキャッシュ・フロー	728
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	2,347
有形固定資産の売却による収入	271
投資有価証券の取得による支出	495
投資有価証券の売却による収入	2
長期貸付金の貸付による支出	0
その他	189
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,760
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額	936
コマーシャル・ペーパーの純増減額	2,000
配当金の支払額	1,969
自己株式の取得による支出	12
その他	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	920
現金および現金同等物にかかる換算差額	1,492
現金および現金同等物の増減額	1,460
現金および現金同等物の期首残高	54,565
現金および現金同等物の四半期末残高	53,105

「参考資料」 セグメント情報

(1) 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期(平成 19年 4月 1日～平成 19年 6月 30日)

(単位:百万円)

	半 導 体・ 表示体材料	回 路 製 品	高 機 能 プ ラ ス チ ッ ク	クオリティオブライフ 関 連 製 品	そ の 他	計	消 去 または全社	連 結
売 上 高								
(1) 外部顧客に対する売上高	15,935	11,692	18,247	18,509	227	64,612	-	64,612
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	3	-	232	106	-	342	(342)	-
計	15,939	11,692	18,480	18,615	227	64,955	(342)	64,612
営 業 利 益 または 営 業 損 失 ()	3,106	477	1,154	1,074	46	4,904	(1,339)	3,564

(注) 1. 事業区分は、製品の市場における主要用途、事業の類似性を勘案し区分しております。

2. 各事業の主要な製品および役務の内容

- (1) 半 導 体・表 示 体 材 料 : 半 導 体 封 止 用 エ ポ キ シ 樹 脂 成 形 材 料、感 光 性 ウ ェ ハ ー コ ー ト 用 液 状 樹 脂、半 導 体 用 液 状 樹 脂、半 導 体 実 装 用 キ ャ リ ア テ ー プ、半 導 体 チ ッ プ 接 着 用 テ ー プ、表 示 用 フ ィ ル ム
- (2) 回 路 製 品 : フ レ キ シ ブ ル・プ リ ン ト 回 路、フェ ノ ー ル 樹 脂 銅 張 積 層 板、エ ポ キ シ 樹 脂 銅 張 積 層 板
- (3) 高 機 能 プ ラ ス チ ッ ク : フェ ノ ー ル 樹 脂 成 形 材 料、工 業 用 フェ ノ ー ル 樹 脂、精 密 成 形 品
- (4) ク オ リ テ ィ オ ブ ラ イ フ 関 連 製 品 : 医 療 機 器 製 品、メ ラ ミ ン 樹 脂 化 粧 板・不 燃 板、ビ ニ ル 樹 脂 シ ー ト お よ び 複 合 シ ー ト、鮮 度 保 持 フ ィ ル ム、ポ リ カ ー ボ ネ ー ト 樹 脂 板、塩 化 ビ ニ ル 樹 脂 板、ア ク リ ル・ス チ ロ ー ル 樹 脂 板、水 処 理 関 連 製 品、防 水 工 事 の 設 計 な ら び に 施 工 請 負
- (5) そ の 他 : 試 験 研 究 の 受 託、土 地 の 賃 貸 等

(2) 所在地別セグメント情報

前第1四半期(平成 19年 4月 1日～平成 19年 6月 30日)

(単位:百万円)

	日 本	ア ジ ア	北 米	欧 州 其 他 の 地 域	計	消 去 または全社	連 結
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	34,258	19,680	4,908	5,764	64,612	-	64,612
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	3,684	2,990	261	6	6,942	(6,942)	-
計	37,942	22,670	5,169	5,771	71,554	(6,942)	64,612
営 業 利 益	2,905	1,796	66	201	4,970	(1,406)	3,564

(注) 1. 国または地域の区分は、おおむね地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国または地域

- (1) アジア.....シンガポール、マレーシア、中国、インドネシア、フィリピン、台湾、ベトナム、タイ
- (2) 北米.....米国、カナダ、メキシコ
- (3) 欧州その他の地域.....ベルギー、スペイン

「参考資料」

(3) 海外売上高

前第1四半期(平成 19年 4月 1日 ~ 平成 19年 6月 30日)

(単位:百万円)

	ア ジ ア	北 米	欧州その他の地域	合計
海 外 売 上 高	24,406	4,678	5,416	34,501
連 結 売 上 高				64,612
海 外 売 上 高 の 連 結 売 上 高 に 占 め る 割 合	37.8%	7.2%	8.4%	53.4%

(注) 1. 国または地域の区分は、おおむね地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国または地域

(1) アジア.....シンガポール、マレーシア、中国、インドネシア、フィリピン、台湾、韓国、タイ

(2) 北米.....米国、カナダ、メキシコ

(3) 欧州その他の地域.....ベルギー、スペイン

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。